

第3回生物多様性国家戦略小委員会プログラム

NGOヒアリング

- ・各団体毎に25分発表。25分質疑・意見交換
- ・最後に60分間程度、総括的な意見交換

10:00～10:05 開会/NGOヒアリングの進め方

10:05～10:55 「日本自然保護協会」

発表者：吉田正人（保護部長）

- 1) 自然公園と生物多様性
- 2) 里山と生物多様性
- 3) 野生生物保護法制度
- 4) 生物多様性（種と生態系）のモニタリング

10:55～11:45 「WWFジャパン」

発表者：草刈秀紀（自然保護室次長）

- 1) 森林保全の在り方（ギャップアリス等）
- 2) 保護地域（島嶼生態系を含む）の問題点
- 3) 渡り鳥生息地の保全
- 4) 野生動植物の取引が生態系に及ぼす影響
- 5) 化学物質が生態系に及ぼす負の影響
- 5) 沿岸および海洋生物の保全「漁業・水生生物について」
- 6) 生物多様性保全のための環境教育
- 7) 生物多様性保全とNGOの果たせる役割

11:45～12:35 「日本野鳥の会」

発表者：古南幸弘（自然保護センター副所長）

- 1) 生物多様性国家戦略を推進する体制の整備
- 2) 東アジア地域における国際協力
- 3) 希少種保護から生息地目録、重要生息地の保護区設定へ
- 4) 湿地における生物多様性保全

（昼食）

13:20～14:10 「日本生態系協会」

発表者：関健志（事務局長） 青木進（環境政策室長）

- 1) 自然の保全・再生に向けた国土全体のランドデザインの策定（Ecoジカ・ネットワークの形成）
- 2) 環境NGOを含めた点検システムの構築

14:10～15:10 全体を通じた総括的意見交換

15:10～15:15 次回小委員会日程等の連絡（事務局）